



ワンヘルス推進宣言

なじよも君



新型コロナウイルス感染症や狂犬病、重症熱性血小板減少症候群等の人獣共通感染症が、人や動物に重大な健康被害を発生させている。これらの感染症の多くは、大規模な森林伐採、急速な開発による都市化や野生動物の取引の増加などにより、人と動物の適切な距離が保てなくなったことで、動物が持つ病原体が人や家畜、家庭飼育動物等に感染するようになったものと考えられている。これらの感染症は時に地域流行や大規模な世界的流行を起し、人類に甚大な危害を繰り返し及ぼしてきた。

また、薬剤耐性菌問題、気候変動などの地球環境問題、多くの生物種の絶滅など多様な問題が世界的に発生している。このような状況から、「人の健康、動物の健康、環境の健全性は一体である」という「ワンヘルス」の理念のもと、人と動物、そしてそれらを取り巻く環境が直面しているさまざまな課題に対して、各分野が連携して解決していこうという社会活動が世界中で広がりを見せている。

そこで、新潟県獣医師会は、人の健康、動物の健康、環境の健康（健全性）を守り、持続的に社会を維持し、次世代に継承していくため、次の取り組みを行い、ワンヘルスを推進することをここに宣言する。

- 1 ワンヘルスの6つの課題「人と動物の共通感染症対策」「薬剤耐性菌対策」「環境保護」「人と動物の共生社会づくり」「健康づくり」「環境と人と動物のより良き関係づくり」に関する事業について積極的に取り組む。
- 2 他団体との相互交流を促進し、ワンヘルスの実践に協力して取り組み、県民へのワンヘルスの周知に努める。



オコジョ先生

新潟県獣医師会は「ワンヘルス」を推進します。

令和4年6月9日
公益社団法人 新潟県獣医師会

オコジョ先生、なじよも君は新潟県獣医師会ワンヘルス推進マスコット（上月遥香会員作）です。